

1. 件名：新型転換炉原型炉（ふげん）の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和5年11月6日（月）16時15分～16時20分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
栗崎企画調査官、真田安全審査官、上野管理官補佐、大島原子力規制専門員
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
敦賀廃止措置実証本部 廃止措置推進室 技術副主幹
新型転換炉原型炉ふげん 廃止措置部 部長 他1名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
6. 配付資料
なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	育って面談の方を始めます。
0:00:04	今日本日先日相談がありました、補機冷の工事が遅れるのということに対する
0:00:16	回答になります。1年程度工程が遅れる見通しであるということで、
0:00:24	廃措置計画の変更届で対応したいと、ことのご説明がありまして内部で調整した結果、ご提案の通り、
0:00:34	変更届届け出で対応をお願いしたいと。
0:00:40	ということになります。
0:00:44	こちらからは以上です。
0:00:49	はい。ふげん廃止措置の水井でございます。ご回答ありがとうございました。
0:00:55	施設の行政相談の結果を踏まえまして今届け出しかるべき対応でよろしいということでありましたので、これからですね、先日ご説明させていただく方向で、廃止措置計画の変更届の準備を進めさせていただきます。
0:01:12	届け出の記述等につきましては今後ちょっと所内外のですね手続きがございますので、1ヶ月程度かかろうかと思っておりますけれども、いずれにしても
0:01:23	機構として決裁した日から30日目に届けさせたということで、進めさせていただきますので引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
0:01:31	はい。規制庁尾野です。それは届け出も、衛藤様引き続きを進めて対応の方よろしくお願ひします。
0:01:40	具体的には11月末とかぐらいがめどになる予定でしょうか。
0:01:49	えっとですね補佐のご回答いただきましたところを含めて、これから手続き入ります。拝察計画の変更届け出でございますが、理想の決裁を取ることになりますので、ちょっと社内1回、機構内の手続きを経ますので、11月末もしくは12月に入ってしまうかもしれませんが。
0:02:08	その辺の状況見えてないですねまた状況等を通じて、目安についてはご共有させていただきますと存じます。
0:02:16	はい規制庁までスケジュール感については確認できました。
0:02:22	製造課から何かありますか。
0:02:27	聞こえんかわかりますか。
0:02:32	発言から特にございません。
0:02:35	はい。東京からも特にございません。ありがとうございました。
0:02:39	はい。それでは、これで以上で面談を終わりたいと思います。
0:02:44	本日はありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。